

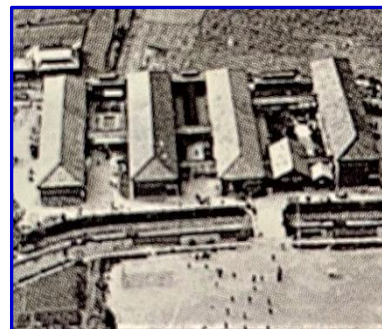


# みあざはし

【校訓】 自主 友愛 創造



題名の「みあざはし」は、校舎とグラウンドの境目の中央辺りに立っている石標柱に彫られている文字です。漢字では「三字橋」と書きます。三字(みあざ)とは、逆川に橋が架けられた当時の三つの町名(本町と両城町)を意味するという説もあるようです。今も逆川は流れていますが、当時は、校舎とグラウンドとの往復には、この橋を渡っていたのです。現在の学校敷地内では、川の部分はグラウンドとテニスコートや駐車場になっていますね。



「みあざはし」だけでなく、これまでの歴史と伝統ある竹鼻中学校の歩みを大切に、今、この学び舎で学ぶ私達は、生徒、保護者の皆様、教職員が共によりよい学校生活を目指して、取組を進めていきたいと思ひます。(参考:当校設立:昭和22年4月『岐阜県羽島郡竹ヶ鼻町立竹ヶ鼻中学校』)

## 令和4年度 竹鼻中学校の学校生活がスタートしました

1年生197名 2年生178名 3年生198名、進学や進級を迎え、新たな年度が始まりました。生徒や保護者の皆様には期待感や希望があり、心地よい緊張感のある時期だと思ひます。今年度もコロナ禍における感染対策を継続した形ではありますが、落ち着いた雰囲気の中で良いスタートができたと思ひます。これからの一年間の成長に、当校教職員52名が、全力を挙げて教育活動を進めます。

新年度のスタートにあたり、学校長からお話がありましたが、各生徒代表からの言葉からも、意気込みと勢いが伝わってくるものでした。

### 〈学校長挨拶(始業式 4月7日)〉－抜粋－

皆さんが、本校を卒業する時には、同時に義務教育を終え、自ら選択した道に進む、人生の大きな岐路に立つこととなります。そこから、一步步、未知の世界へ歩みを進めていくのですが、その時には、よく考えて選び、希望を持って臨む力強い一歩から進めてほしいと思ひます。皆さんには、卒業までに、その力をつけておいてほしいと願うのです。

皆さんには、学校生活においても日頃から、物事についてよく考え、自分は何をすべきか。どうしていくのか。また、社会の流れなどにも関心を高くしてほしいです。目的意識をもって日常を送ってほしいのです。その中で、現状から、よりよくする為の工夫やアイデアをもち、取り組んでいく経験を重ねてほしいのです。結果に重きをおくのではなく、挑戦する姿勢、まずやってみるというチャレンジ精神を大切にしてください。



One child, one teacher, one book and one pen can change the world.  
Education is the only solution. Education first.

「一人の子供、一人の教師、一冊の本、そして、一本のペン。それで、世界を変えることができます。  
教育こそが一つの解決策です。教育を第一に」

我が国では、子供が教育を受けることは、あまりにも当たり前のことです。しかし、世界では、この人権活動家の マララ ユスフザイ さんのように、貧困や偏見、差別と闘いながら、全ての子供が教育を受けることのできる権利を求めて、命を掛けて訴えている方がおられます。

今、私たちの義務教育制度の素晴らしさを改めて感じ、その中で生まれ成長できることに感謝すると共に、自身の良さを伸ばす為、勉学に励んでほしいと切に願ひます。

最後に一つ、みなさんの心にしっかりと刻んでおいてほしいことがあります。それは、自分や周りの人との能力や表現の仕方の違いを、その人の特徴や個性として捉えることはあっても、人格を否定するようなことや、人権を無視するよう言動は、絶対にあってはならないということです。人に備わっていく力は様々であり、成長していくスピードや経験、学習内容も違っているということを、一人一人がしっかりとわかっておいてほしいと思ひます。そして、自分自身を大切に、周りの仲間を大切にしてください。

令和4年度。本校の校訓「自主 友愛 創造」を胸に、生徒、教職員が一丸となって、この竹鼻中学校での充実した生活を創り上げていきましょう。

〈3年生代表 奥西 真子さん 前期始業式での生徒代表挨拶〉 - 抜粋 -

二年前、少しの不安と期待を胸に私達は入学しました。初めての校舎に初めて見る名前。たくさんの初めてに心躍ったのも束の間。私達は休校を余儀なくされました。コロナと共に始まった中学校生活。未だ収まっておらず、多くのことが制限されています。そんな中でも私達は、できる最大限のことをし、仲間と支え合いながら、日々成長してきました。

私にとって1年生は「挑戦」の年。2年生は「経験」の年。そして、今年は3年生。日常や行事では仲間とたくさん関わり、互いに支え合い高め合い、3年生全員で素敵な思い出や財産を作っていきたいです。また、竹鼻中学校の最学年としての自覚を持ち、自分の役割に責任を持って果たし、学校全体を引っ張っていきます。

今年度受験生である私達にとってこの一年は「勝負」の年でもあります。勉強にもこれまで以上に取り組み、自分の未来を自分の手で切り拓いていきたいです。



〈新入生代表 マーティン亜莉愛さん 入学式での新入生代表挨拶〉 - 抜粋 -

一日一日を悔いのないように大切に過ごしていきます。そのためには、勉学に励むことはもちろん、部活動にも全力で取り組みます。また、生涯ともに支え合っていけるような仲間を作ることに力も注ぎます。



校長先生、ならびに先生方、そして先輩方、ご指導を宜しくお願いいたします。私たち新入生は、伝統ある竹鼻中学校の一員であることに常に誇りを持ち、実りある三年間にしていきます。



【友情の泉】

中庭にある「友情の泉」の噴水や優雅に泳ぐ魚の様子を見ていると、心が少し和みます。こんな空間が校内にあるのはいいですね。少しずつ手入れをしてきました。みなさん、見に来てください。



R3. 4月



R3. 6月(蓮の花)



R3. 7月



R3. 8月



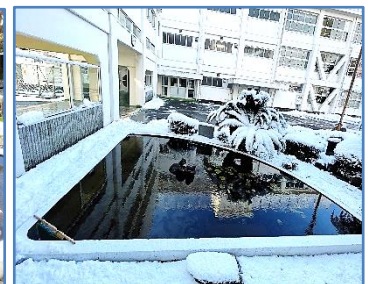
R3. 9月(藻の花)



→R3. 11月(セキレイ)



R3. 12月



→ R4. 1月(雪化粧)



R4. 2月(白鷺)



→ R4. 3月



→ R4. 4月(モネの「池」風)

僕の後ろを歩かないでくれ。僕は導かないかもしれない。僕の足を歩かないでくれ。僕はついていかないかもしれない。

ただ僕と一緒に歩いて、友達でいてほしい。

〈アルバル・カミュ〉